



1 2

3

幕末から明治にかけて活躍した石川雲蝶。大胆な構図と精巧な鑿さばきは、他の追随を許さない。三条市に眠る石川雲蝶の作品を訪ねる歴史散歩に出かけてみよう。

# 石川雲蝶

いしかわうんちょう

燕三条匠の技に出会う

- 1 本成寺貫首室に安置されている「本山に残る赤牛」。「明治十丁丑仲冬工 石川匠雲蝶」の署名がある。父雲蝶母クニの没年と戒名を併記し、長男儀平が寄贈したもの。  
※ガイド案内時のみ公開
- 2 本成寺静明院の宝物「亀」は高さ17.3センチ。木目を生かし年を経たさまを表現した甲羅のリアルさや、力強くデフォルメされた爪に注目。  
※ガイド案内時のみ公開
- 3 左右に唐獅子を控えた石動神社拝殿向拝の竜。夜な夜な騒ぐ竜を鎮めるために頭部を左向きに掛け替えたとの伝説が残る。迫力のある姿と緻密な彫りの技が冴えわたる。

三条市に残る石川雲蝶の魅力を地元ガイドがご案内

- ☎三条雲蝶会  
☎0256-33-1754 (三条雲蝶会事務局・角田)
- ☎本成寺 1人700円(最少人数10名)  
(拝観料300円、資料代200円、ガイド料200円)
- ☎石動神社 1人500円(最少人数5名)  
(拝観料300円、ガイド料200円)
- ※要予約

石川雲蝶ガイド

観る



ほんじょうじ 本成寺  
Map C-4  
☎0256-32-0008  
☎三条市西本成寺1-1-20



いするぎんじや 石動神社  
Map D-4  
☎0256-45-4829  
☎三条市吉野屋甲3885  
無なし

**今もなお輝きを放つ美と技**  
その作品の巧緻さから、「越後の左甚五郎」とも「越後のミケランジェロ」とも称される石川雲蝶。迫力に満ち、重厚感のある彫刻は、今も見る人の心を捉えて離さない。鮮やかな色彩が薄れても、その美しさと存在感は圧倒的だ。  
石川雲蝶は文化11(1814)年、江戸の雑司が谷(現東京都豊島区・文京区)に生まれた。本名は安兵衛。若くして江戸彫石川流の彫物師として知られる。雲蝶について書かれたものは少ないが、この地には雲蝶にまつわるさまざまな逸話が残されている。興が乗らなければ鑿を握らなかつたこと、振舞

い酒で気をよくした雲蝶が小品を彫って献じたこと...いくつかのエピソードからは、職人気質な人物像が浮かんでくる。  
**きらめく才能を作品に残した三条の地**  
弘化年間に三条の金物商であった内山又蔵が、雲蝶に本成寺の彫刻を依頼したのがきっかけで、三条に來たと伝えられている。三条といえは鍛冶と金物のまち。そして清流と米に恵まれた美味しい酒。三条のいい道具とうまい酒に惚れ込み、晩年も三条で過ごしたのだろう。  
現在、雲蝶の作品は県内各地で見ることができ、三条市の石動神社、本成寺に残る彫刻は円熟期の逸品揃い。名匠の技をじっくりと観賞したい。

観る

三条市歴史民俗産業資料館

三条の歴史・文化・芸術を広く学ぶ

アクセス  
JR北三条駅から徒歩約1分  
☎三条市歴史民俗産業資料館  
☎0256-33-4446  
☎三条市本町3-1-4  
☎9:00~17:00  
☎無料 ☎30台  
☎休月曜日(月曜が祝日の場合は翌日)、  
月末(土・日・祝の場合は開館)、  
年末年始(12/29~1/3)  
☎http://www.city.sanjo.niigata.jp/kanko/

Map C-4



三条出身で日本を代表する写真家、渡辺義雄氏の作品も展示している。



(旧武徳殿)平成21年国登録有形文化財に登録

観る  
体験

三条鍛冶道場

和釘づくりなど  
伝統の鍛冶技術を体験

ほど熱した鉄を金槌で叩き、釘の先端を尖らせていく作業は微妙な力加減が必要。



平成17年に開設した三条鍛冶道場は、産業の基礎となった鍛冶技術を人々に広く知ってもらうとともに、技術の継承と産地の活性化を図ることを目的とした、ものづくり体験施設である。ここでは地元元指導者のアドバイザーを受けながら、「和釘づくり」や「包丁研ぎ」など、本格的な鍛冶技術を体験できるのが魅力。和釘づくりは、伝統技術のすばらしさを改めて教えてくれる。

アクセス

JR北三条駅から徒歩約3分  
☎三条鍛冶道場  
☎0256-34-8080  
☎三条市元町11-53  
☎9:00~17:00  
☎[和釘づくり]大人500円、  
中学生以下250円  
[包丁研ぎ]300円  
(包丁は持参してください)  
☎30台程度  
☎休月曜日(祝日の場合は開館)、  
年末年始(12/29~1/3)  
☎http://www.city.sanjo.niigata.jp/shokoka/kaji/

Map C-4



TOPICS

技を受け継ぐ 燕市磨き屋一番館 Map C-3

平成19年に開設した燕市磨き屋一番館は、金属加工産業の基盤技術である金属研磨業に携わる後継者の育成、新規開業者の促進、体験学習による金属研磨技術の普及を図ることを目的とした施設。ここでは、卓越した技術を有するとして新潟県から認定された「にいがた県央マイスター」が次の世代の架け橋となるべく「磨き屋」を目指す研修生に金属研磨の技術指導を行っている。

アクセス  
北陸自動車道 三条燕ICから車で約10分  
☎燕市磨き屋一番館  
☎0256-61-6701  
☎燕市小池3633-7  
☎8:30~17:45  
☎http://www.city.tsuabane.niigata.jp/ichibankan

観る  
体験

燕市産業史料館

伝統の銘品を鑑賞し金属加工の系譜を学ぶ

アクセス  
北陸自動車道 三条燕ICから車で約5分  
☎燕市産業史料館  
☎0256-63-7666  
☎燕市大曲4330-1  
☎9:00~16:30(入館は閉館の30分前まで)  
☎高校生以上300円、子ども100円  
☎27台  
☎休月曜日(月曜が祝日の場合は翌日)、  
祝日の翌日、年末年始(12/29~1/3)  
☎http://www.city.tsuabane.niigata.jp/info/shiryou/

Map C-4



世界のスプーン館



産業史料館新館

体験室

先人の職人たちの心を大切に、技術遺産を保存する場として開設された燕市産業史料館。2008年にリニューアルした新館では、手作り時代のスプーン・フォークから現代までの金属洋食器・金属ハウスの歴史を紹介。金属加工の変遷を知ることができる。さらに、医師で画家でもある故伊藤豊成氏が収集した世界のスプーンを展示。体験室では、ミニスプーン作りの工程疑似体験もできる。

キセル  
煙管

繊細な技巧が輝く工芸品

キセルとは、先端の円形の皿状のところにたばこの葉を詰めて点火する喫煙具のことである。江戸、明治の男にとって欠かすことのできない装身具の一つであった。



ジャワ更紗  
腰差し煙草入れ

産業史料館別館 丸山コレクション 矢立煙管館

日本のライター業界の育成に大きく貢献した故丸山清次郎氏が、その半生をかけて蒐集した煙管・煙草入れ・矢立を展示。高い技巧と独創的な意匠の彫金が施された煙管や、金唐草やジャワ更紗が美しい煙草入れなど、貴重な作品を紹介している。